

## 職場巡回相談業務の仕様書

### 1 業務名

職場巡回相談業務（以下「業務」という。）

### 2 業務内容

受注者である職場巡回相談事業委託機関（以下「相談委託機関」という。）は、別紙職場巡回相談業務実施要領に基づき、広島県教育委員会の本庁、地方機関、県立学校及び学校以外の教育機関のうち、発注者が指定する機関に勤務する教職員に対して、メンタルヘルス相談を実施するとともに、教職員の相談が終了した後、当該教職員の所属長へ助言等を行う。

### 3 職場巡回相談の実施方法

#### (1) 対象者

次の各号のいずれかに該当する任用期間が1年以上の教職員とする。

ア 採用後1年未満の教職員

イ 異動後1年未満の教職員

ウ 本人から実施の申出があり、かつ、所属長も実施の必要性を認める教職員

#### (2) 相談内容

教職員が抱えている職場の人間関係、家族関係、身体の状況や心理的反応等、様々な心の悩み等

#### (3) 実施時期

実施日程等については、所属と相談委託機関が調整の上決定し、相談委託機関が作成した職場巡回相談実施計画（実施日時、実施所属、対象者数を記載したもの）に基づき実施する。

なお、主たる実施期間は、

【上期】5月から8月まで（対象者アからウ）

【下期】10月から12月まで（対象者ア）

とするが、対象者の都合やその他の理由等により、この期間の実施が困難な場合はこの限りでない。

#### (4) 相談方法

原則、オンラインとする。ただし、発注者が認めた場合のみ対面とする。

#### (5) 相談時間

対象者との相談時間は1人1回とし、1件当たり20分程度とし、所属長への助言は1所属当たり1回とし、1回当たり20分程度とする。

なお、相談内容や対象者の状況によって、相談時間を延長又は短縮する場合もある。

#### (6) 業務実施報告

業務を実施したときは、職場巡回相談の提出用記録票を作成し、職場巡回相談業務実施報告書と併せて、実施した月の翌月10日までに、発注者に提出する。

#### (7) 予定人数

【上期】 1,178人

【下期】 285人

### 4 緊急対応相談の実施方法

(1) 対象者

緊急事案が生じた所属の次の各号のいずれかに該当する教職員とする。

- ア 本人から実施の申出があった教職員
- イ 所属長が実施の必要性を認める教職員
- ウ その他健康福利課長が必要と認める教職員

(2) 相談内容

緊急事案に関連した教職員自身の心身の反応や悩み、不安等

(3) 実施日時

所属から発注者に申出があった場合、発注者が協議し、  
緊急対応相談が必要な場合は、発注者が相談委託機関と日程調整を行う。  
決定時間から時間を延長する場合は、相談委託機関から発注者へ事前に連絡する。

(4) 相談方法

原則、オンラインとする。ただし、発注者が認めた場合のみ対面とする。

(5) 相談時間

対象者 1 人当たりの面談時間は、対象者の勤務状況等を勘案し、所属と調整の上、決定する。  
また、所属長への助言については、実施日毎の相談内容を基にした助言を行う。

(6) 業務実施報告

業務を実施したときは、緊急対応相談記録票を作成し、相談日に所属長に提出する。  
また、職場巡回相談業務実施報告書を実施した月の翌月 10 日までに、発注者に提出する。

(7) 予定数量

10 人

5 契約期間及び支払方法

- (1) 契約期間 契約締結日～令和 8 年 3 月 31 日
- (2) 支払方法 1 か月ごとの完了払

6 契約方法

単価契約とする。

内訳	職場巡回相談における対象者及び所属長への助言 1 件当たりの報酬相当額 緊急対応相談における相談対応及び所属長への助言を行った時間 20 分当たりの報酬相当額 旅費相当額（対面での相談のみ別途支給する。） 有料橋（新尾道大橋、因島大橋、生口橋）通行料金相当額 フェリー（安芸津～大西、竹原～垂水～白水）自動車航送料金相当額
----	---

7 留意事項

- (1) 状況によっては、同一日に複数箇所実施する場合がある。
- (2) 実施日の決定後に日程等の変更を要する場合は、実施所属と相談委託機関が、日程等の再調整を行う。